

KANKOU TAKASAKI

観光たかさき

2013
SPRING 春号
VOL.122

ドライブ日和

けの

稔り多き毛野国。拓いた王の眠る里へ

—高崎駅東口から伸びる354バイパス沿線を巡る—

高崎の観光再発見

中山道 —交通の要衝として栄えた高崎—





ドライブ
日和

354 バイパス

稔り多き毛野の国。 拓いた王の眠る里へ

—高崎駅東口から伸びる354 バイパス沿線を巡る—

たくさんあります。

「元島名將軍塚古墳」をはじめ、このエリアには通り過ぎてしまいうにはもったいないスポットがたくさんあります。

高崎駅東口から高崎・玉村スマートインター（平成26年開通予定）までの354バイパス区間は、高速道路へのアクセスの向上が図られ、急速な変貌を遂げています。



■ 駅から車で10分圏内

気品ある馬の姿に心洗われる

高崎駅東口から354バイパスを東へ向かい北部環状線を越えて2kmほど先の交差点、ガソリンスタンドを左折し700mほど行つたところに乗馬クラブの看板があります。そこを左折するとすぐ、白い柵に囲まれた馬場が見えてきます。

ここは都内などから通ってくる人を含め600名近い会員が所属する「TRC乗馬クラブ高崎」。スタッフが馬のコンディションをチェックするため馬を走らせたり、会員が乗馬レッスンを受けたたりする光景を目にすることが出来ます。

「乗馬は年齢、性別、体力を問わずだれでも楽しめるスポーツ。馬が好きで馬を自分で動かしてみたいという意思をお持ち



■ TRC 乗馬クラブ高崎

住所：高崎市南大類町 124

TEL：027-352-5250

営業時間：9時30分～21時 定休日：火曜

※体験を希望される方は、事前予約（電話）が必要。

〈体験1回コース〉先着20名様（5月26日まで）
総額2,500円。20名以降は6,500円。

身長125cm以上、70歳以下の方が基本対象。





白木の二の鳥居



かつての二重堀がしのばれる

◀散策が楽しめる“神苑”

であれば、馬は人とのコミュニケーションを上手に図ります」と話す乗馬クラブの高波さん。
乗馬初心者には、スポーツとしての心地よさ、フィットネスや癒しの効果など乗馬の醍醐味が味わえる30分の『体験1回コース』がオススメ。馬の気高い精神性が動作や容姿の美しさに表れ、見ているだけでも心が洗われ、疲れが修復されるような癒しを感じることができます。

■都市部の喧騒を忘れる

木々に囲まれたパワースポット

乗馬クラブから354バイパスに出ると、左斜め前方にこんもりと木々が茂った一帯が見えます。これは進雄神社が鎮座する杜。貞観11年（869）に諸国に疫病が蔓延したときに、清和天皇の命により尾州（愛知県）津島神社を勧請して、この地に祀りました。武田、上杉、北条等の戦国武将たちの戦勝祈禱文書や杜家の安堵状等が伝えられ、篤く崇拜されていた様子が見えます。高崎藩主や箕輪城主より神領が寄進され、



■進雄神社

住所：高崎市柴崎町 801 TEL：027-352-1839

寛永11年（1634）に徳川家光公より御朱印三十石が寄進されました。

明治初年の神仏分離により、それまでの「天王宮」から「進雄神社」と改称され、御祭神は速須佐之男命と稲田姫命ほか、近郷三町内に祀られていた合祀の神々24神です。

朱色の一の大鳥居に続いて白木の二の鳥居をくぐると神域となり、神木の大ケヤキをはじめ木々の息吹を受けながら空気が澄んでいくのを感じます。手水舎で柄杓に水を受けて先ず左手、右手とすすぎ、その後左手に水を受けて口をすすいで最後にもう一度左手をすすいで身を清めます。参道の中央は太鼓橋の「御神橋」で、神様がお渡りになるところ。左右によけて御社殿神前に進み、二拝二拍手一拝の作法でお参りをします。

進雄神社は、子ども連れのご家族がのんびり時を過ごす姿が見受けられるなど親しめる場所。御社殿の西には名譽宮司が丹精込めた「神苑」があり、梅や椿、草花が季節を彩り、飼育

している孔雀や七面鳥などを見ながらの散策が楽しめます。

この神社は代々高井家当主が神官にあたる「天王太夫司職」を務めてきました。高井家は13世紀頃にここに居住し、屋敷は進雄神社を含んで二重堀の構えをもつ構造でした。東西150メートル、南北90メートルにも及んだ堀は現在、内堀の一部を残しています。

■鮮度抜群の寿司ランチ

市場が開放される感謝デー

進雄神社から354バイパスに出て玉村方面に進み、「卸売市場北入口」の交差点を右折。高崎市総合卸売市場は、県内西部流通圏の生鮮食料品の拠点市場として、生鮮食料品の質・量・価格面における安定供給を促進するという大きな役割を担っています。地域の魚介と青果、花卉等が、この卸売市場を経由しています。午前6時からせりが始まると場内は一気に活気づき、午前11時頃には静寂を取り戻します。それでも場内にあるお寿司屋さんは、海辺の庶



高崎市総合卸売市場
住所：高崎市下大類町 1258
TEL：027-353-0123 日曜定休
※毎週第2・4土曜日はニコニコ感謝デー



市場寿司なごみ屋
TEL：080-9446-7538
営業時間：4時～14時

民的な食堂といった飾らない雰囲気、お昼を食べにくるお客さんを待って営業を続けます。市場に集まる新鮮なネタがなにより魅力で、握り上寿司980円、おすすめ握り980円、海鮮丼680円：など価格もリーズナブル。ランチを目的に市場に行くのも断然オススメです！

また、毎月第2・第4土曜（午前9時～12時）に開催される『ニコニコ感謝デー』では、市場が一般客に開放されます。家庭用に小分けされた商品が並び、市場ならではの珍しい商品や、鮮度抜群でお得感のある食材を目当てに多くの人が訪れます。春を告げる魚や野菜など、季節感をたっぷり味わうことができます。

見て触って体験して、 昔の暮らしの知恵や工夫を実感

市場から出て「卸売市場北入口」の交差点をそのまま直進。付き当たったT字路「伊勢崎街道」を玉村方面に右折し、井野川に架かる常慶橋を渡って道なりに右折してすぐ左側に、かつて村役場だった素朴な木造の建物があります。ここは昭和53年より「高崎市歴史民俗資料館」として、高崎市内を中心に、日々失われつつある民俗資料の収集・保存・研究・展示の役割を担ってきました。入館は無料。中に入ると長い年月に磨かれ黒光りする床や階段は、資料館としてこれ以上ないというしつくりとした雰囲気を感じさせています。小学校単位での児童の利用が圧倒的に多く、近県からの利用もあるそうです。

館内には明治から昭和初期の茶の間や台所、囲炉裏、駄菓子屋、学校の教室、商人の帳場などが再現され、展示されているものを手にとったり触ったりしながら、当時の暮らしをより身



企画展「雛遊び」（4月14日まで）

近に感じるができます。

機織りの部屋では高機が10台設置され、水・金曜日には実演が行われています。この高機で織る布は13メートルにもなるそうです。手間暇かけて積み上げる作業から生まれる布は、当時大変な貴重品。古くなった着物でも布を細く裂いて高機で織り直し、独特の風合いのある布に仕上げるといったお話から、工夫し楽しみながら物を大切にしていた当時の人々の暮らし方に感心させられます。

また、年に数回企画展が実施



高崎市歴史民俗資料館
住所：高崎市上滝町 1058
TEL：027-352-1261
開館時間：9時～16時 入館無料
休館日：月曜・祝日の翌日



され、現在は旧暦の3月（4月）の節句「雛遊び」をテーマにした展示が行われています。田植えに先立ち農作業を始める大事な時期に、身のけがれを清める風習から、人の形を紙などで作り川や海に流したのが「雛人形」の始まり。江戸時代中期に今のようない「雛祭り」になり、大八車で「雛売り」がやってくるなど、興味深い切り口の展示から、いにしへの風習や暮らしへの興味が膨らむ一方で、我家を素敵に演出するインテリアのヒントも見つかりそうです。



古墳全景



◀元島名將軍塚古墳から出土した
東海地方西部発祥の土器

■水田を開拓した外来集団や 卑弥呼と関わりの強い人物

歴史民俗資料館の裏手に回って徒歩5分ほど、高南中学校の西方100メートルほどのところに、4世紀初めに造られた群馬県内最古の古墳として知られる大型の前方後方墳「元島名將軍塚古墳」（墳長95メートル）があります。古くから王山と呼ばれ、上毛野・下毛野君の始祖とされる豊城入彦命の孫にあたる彦狭嶋王の墓と伝えられています。古墳の上には祠があり「島名神社」と称して彦狭嶋王が祀られています。

高崎地域の卓越した文化力



島名神社

■元島名將軍塚古墳と島名神社
住所：高崎市元島名町 162

が開花する端緒を切り拓いたのが、この元島名將軍塚古墳を造った人たち、そして高崎市卸売市場付近（柴崎町）にあった蟹沢古墳の主である、『高崎千年物語』の著者・若狭徹さんは指摘しています。蟹沢古墳は現存していませんが、卑弥呼にまつわる「三角縁神獣鏡」が出土したのは驚くべきことで、千七百年前に高崎の地に卑弥呼と強い関係のあった人物がいたことを伝えています。

一方、大きな前方後方墳（伊勢湾岸地方に多い古墳の形）である將軍塚古墳を築いたのは、東海地方から新しい農業技術を携え3世紀に移住し、高崎南部の低湿地を開拓した外来集団の長だったと推定されています。

東海人は船を操ることに長けた海の民。伊勢湾から船出し、太平洋伝いに東京湾に至り、荒川もしくは利根川を遡上して高崎周辺に上陸したのでは：そう



井野川

いった思いを巡らせながら井野川を見渡すと、古代人の声が聞こえてくるようです。

■畑のあるオーガニック専門店 青空の下でお茶しませんか？

354バイパスを高崎駅方面に戻り、進雄神社を過ぎ右側に住宅展示場のある交差点を左折。中居緑地帯通り沿いに進み最初の鉄塔の手前を左折すると、自転車屋さんの向かいに、オレンジの四角い建物&畑があります。ここは、オーガニック野菜とおやつのお店「BIO SK」。有機農法や自然栽培で作られた野菜や手作りケーキ、プリンなど自家製加工食品に、紅茶・穀物・洗剤・石鹸・クレヨンなどのオーガニック製品が並びます。

オーナーの櫻井さんご夫婦は、その土地でとれた種から野菜を育てる「固定種」栽培にこだわる農業に取り組みながら、丹精込めて育てた野菜を仲間の有機栽培農家の野菜と一緒に販売。さらに、そのオーガニック野菜を材料に、卵、乳製品、動物性食品不使用の自家製ケーキなども提供しています。

赤い発色がきれいな赤ビーツや有機レーズンとの相性抜群のサツマイモのケーキ、見た目はチョコレートケーキにしか見えない色と独特の風味と栄養が詰まったゴボウケーキ、しつとりなめらかな豆プリンなど、素朴なおやつには自然の恵みがたっぷり。併設のカフェでオーガニックドリンクと一緒にどうぞ召しあがれ！



■BIOSK(ビオスク)
住所：高崎市中居町 2-6-31
TEL：027-333-5753
営業時間：10時～18時
(木・金・土・日のみ営業)

●01 EVENT

みさと芝桜まつり

4|13~5|12
(土) (日)

- みさと芝桜公園
- 午前8時から午後5時

- 入場料：大人300円 小学生100円 小学生未満無料
団体（15名以上）：大人200円 小学生50円
- 駐車場無料（乗用車335台、大型バス26台収容可能）



暖かい春の日差しのもと、「2013 みさと芝桜まつり」が開催されます。

織姫が置き忘れた桜色の羽衣のように赤・白・ピンクの色彩やかな芝桜を渦巻き模様で描きだしています。

イベントは、4月13日、20日、27日午前10時と午後2時の2回。先着100名様に、芝桜ポット苗・なめこ汁の無料配布を行います。（※入場順ではなく、園内放送後先着順）また、4月28日には、みのわの里のきつねの嫁入り行列を行います。

売店では、地元の新鮮野菜や春の山菜、また、高崎名物だるまをアレンジした、カラフルな芝桜だるまの販売も行っています。皆様のお越しをお待ちしています。

●お問い合わせ：箕郷支所産業課
TEL.027-371-9065

●02

第37回県民芸術祭参加 第34回 森とオーケストラ

EVENT

4|29
(月・祝)

※入場無料

- 12時開演
- 群馬の森大芝生広場特設ステージ
(野外演奏、雨天中止)
- 管弦楽：群馬交響楽団



森とオーケストラとは、群馬交響楽団（以下、群響）による無料野外コンサートです。群響は、音楽文化を通じた戦後復興を目指して1945年に設立されました。それ以来、市民、県民のみなさんにオーケストラの素晴らしさを伝え、多くの人々に音楽を楽しんでもらう目的で活動してきました。

しかし、当時の人々はオーケストラに対してなじみが薄く、遠い存在であったため、群響は深刻な経営難に陥ってしまいます。このままでは高崎の文化である音楽がなくなってしまう。そんな危機感のなか、高崎青年会議所と群響が協力して始めたのが「森とオーケストラ」です。

オーケストラは聴いてみると面白い。では、どうしたらみんなにオーケストラを聴いてもらえるのか。そこで生まれたのが現在のスタイルです。公園の芝生のうえで、お弁当をひろげ、新緑の爽やかな風を受けながら、家族や友達と肩を寄せ合ながら最高のオーケストラをお楽しみください。

●お問い合わせ：公益社団法人高崎青年会議所内 森とオーケストラ実行委員会事務局
TEL.027-361-7604

●03 EVENT

第25回 たかさきスプリングフェスティバル

4|29
(月・祝)

- 音楽センター前広場
市庁舎前広場、他



平成と共にスタートした「たかさきスプリングフェスティバル」は今年で25回を迎えます。高崎の春を代表する「市民のための市民のまつり」として定着してきました。

音楽センター前広場で午前10時からオープニングを行い、花鉢・苗木の配布を行う緑花祭、自慢の伝統芸能を披露する市民芸能祭へと続きます。音楽センター東側では新緑の中で琴の調べを聴きながらお茶を楽しむ三曲・野点コーナーと福祉団体を中心にした青空でんと村を開催しています。実行委員会が担当する「里山ひろば」は昔懐かしい木工細工や竹馬作りなど里山の楽しさでいっぱいです。市庁舎前広場ではフリーマーケット・子ども広場・食道楽・軽音楽とこちらも盛りだくさんです。

今年の目玉は昨年に引き続き「ひたちなか市・銚子市・柏崎市の観光物産市」です。美味しいものをゲットしてください。

「春に集う」をテーマに親しまれてきたこのフェスティバルは当日延べ2万人もの方が来場し、暖かな春の一日を楽しんでいます。実行委員も全員市民ボランティアで運営し、学生を中心とする当日のボランティアスタッフを含めると約250名で運営しています。

皆様のご来場をお待ち申し上げます。

●お問い合わせ：たかさきスプリングフェスティバル実行委員会事務局 TEL.027-347-1686

●04

第1回 榛名山ヒルクライム in 高崎

EVENT

5|18・19
(土) (日)

- 会場：榛名体育館、榛名湖畔
※競技参加のエントリーは、既に終了しています。



18日には、榛名体育館でゲストによるサイン会やトークショーなどのイベント、榛名湖畔でのタイムトライアルレースを開催します。会場には飲食ブースや協賛企業の展示ブースも出店します。

19日はヒルクライムレースを開催。ゲスト選手にバルセロナオリンピック出場、藤田晃三さん、ヒルクライム専門のプロチーム VAXレーシングから長沼選手、黒岩選手が出場します。モデルの日向涼子さんも参戦。MCはサイクルライフナビゲーターの絹代さんが務めてくれます。

さらに、少年チャンピオン連載中「弱虫ペダル」の作者、渡辺航さんもハルヒルに参加。トークショーやサイン会も予定しています。

高崎市で初開催のヒルクライム。皆さん、ぜひ見に来てください。

*当日は交通規制があります。19日(日)はレース開催中、コース上は全面通行止めになりますので、ご協力お願いします。

●お問い合わせ：榛名山ヒルクライム in 高崎 実行委員会 TEL.027-374-6715

高崎商都博覧会 2013

05

4 | 27 ~ 29
(土) (月)●スズラン高崎店・高崎高島屋
高崎モントレー・高崎ビブレ
ヤマダ電機 LABI1 高崎

●抽選期間：4月27(土)～29(月) 午前10時～午後7時



高崎中心市街地の大型店5店（スズラン高崎店・高崎高島屋・高崎モントレー・高崎ビブレ・ヤマダ電機 LABI1 高崎）による共同販促企画である、第6回「高崎商都博覧会 2013」を4月27日(土)～29(月)の期間開催します。

期間中は、催事やポイント還元セールなど大型店ならではの趣向を凝らした企画が目白押しです。中でも、2店舗以上で買い物をされた方が参加できる「高崎5店ぐるりんスタンプ」大抽選会は、総額230万円の豪華景品に加え、今回からは各大型店賞や特別賞もご用意いたしました。

また、まちなか商店街（高崎中部商店街・ハナハナストリート）が連携し多彩なイベントを開催するほか、「音楽」や「食」をテーマにしたイベントも同時開催する予定です。

●お問い合わせ：高崎商工会議所 商業振興課 TEL.027-361-5171

「高崎バル 2013・春」開催

EVENT

06

6 | 6 ~ 9
(木) (日)

●中心市街地の飲食店

●あとバル：10日(月)～16日(日)

高崎バル
Takasaki Bar 2013 Spring 2013・春

高崎中心市街地の飲食店では6月6日(木)～9日(日)にかけて、会社帰りや買い物帰りに「食べ歩き」と「まち歩き」を楽しんでいただく飲食イベント「高崎バル 2013・春」を開催いたします。

バルとは、いつでも立ち寄れる気軽なお店という意味で、参加店がお店の特徴を生かしたワンドリンク・ワンメニューのお得な「バルメニュー」を用意し、お客様の来店をお待ちしております。

3回目の開催となった昨秋の開催では、和食や洋食、カフェやバーなど、バラエティーに富んだ85店舗が参加し、4日間で延べ6千人近いお客様で賑わいました。

「高崎バル 2013・春」の参加店舗並びに各店舗のバルメニュー等の情報は、ガイドマップや高崎商工会議所のホームページなどでご案内する予定ですので、ぜひこの機会にまちなかの「食べ歩き」と「まち歩き」をお楽しみください。

●お問い合わせ：高崎商工会議所 商業振興課 TEL.027-361-5171



ようこそ高崎 人情市

今後のスケジュール

平成25年4月28日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

平成25年5月26日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

平成25年6月23日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

●お問い合わせ：事務局 NPO 法人高崎やる気堂（高崎市剣崎町1348-1）
TEL 027-343-5130 FAX 027-340-7067 <http://ninjou.gunmablog.net/>

07

街道と語り合う歴史のひととき

徳川幕府の国防の要衝



◀最初の中山道
往時の雰囲気を今に伝える（元紺屋町）

中山道

— 交通の要衝として栄えた高崎 — ①

古くから交通の要衝として栄えた高崎には、中山道、日光例幣使街道、三国街道、鎌倉街道、追分街道などの道筋が今も残っている。碓氷峠を越えてきた旅人は、高崎のにぎわいに驚き、江戸に着いたかと思えばかりだったそうだ。

●関東の要・高崎と中山道

戦国時代、信州、越後と関東の勢力がぶつかる最前線が西上州で、江戸に入府した徳川家康は、四天王の一人、徳川最強軍団と言われた井伊直政を軍事拠点の箕輪城に置き、国防の要衝を安定させた。直政は、信州、越後へと街道が通じる要衝の地・和田に城を移し、慶長3年（1598）に「高崎」

が誕生した。

中山道は、東海道、日光街道、奥州街道、甲州街道とともに家康によつて整備された幕府直轄の街道で、直政が箕輪から高崎に城を移して江戸へのルートを整えたことは家康の国家構想においても大きな意味を持っている。

●歴史を伝える商家が沿道に

高崎城下に最初に作られた中山道は、現在、中山道と呼ばれている大通りの東側の道だった。赤坂から本町三丁目を東にまっすぐ行き、椿町で右折して通町を南に行き、砂賀町で左折して東に向かい、中居から下之城を経て、倉賀野に出た。

最初の中山道は、武家長屋や寺を抜けていた。永禄6年（1566）創業で四百五十年に及ぶ老舗、糶屋（元紺屋町）がある南北の通りで、道路も拡張されず往時の雰囲気味わえる。糶屋の前の金沢米穀店も三百年以上前に倉賀野河岸で創業、格子造りの店が雰囲気漂わせている。九蔵町付近になると、井伊直政に京から招かれて高崎に移った染職人「だるま紺屋」などの商家や、このあたりに一里塚があったとされている。

直政が彦根に移った後、高崎城主になった酒井家次は、本町三丁目を右折し、九蔵町から田町、連雀町を通る、現在の街道を整え

た。この新しい中山道の沿道には商家が並ぶようになり、高崎の原型となるまちなみが生まれた。

●古代のメインルートが通っていた高崎

高崎の街道史をひもとくと、源流は遠く古代までさかのぼる。朝廷の置かれていた畿内から奥州を結ぶ東山道は、高崎あたりまでは中山道と同じルートで、上野国を横断し、下野国を経て陸奥国へと日本の中央を貫いていた。鎌倉時代以前は、都と東日本を結ぶメインルートで、ヤマトタケルも東山道ルートで東北征伐に行っている。朝廷と地方の国府を結ぶ壮大な道路網が作られ、古墳群や豪族居館跡、多胡碑などが、古くから都と盛んに交流していたことを裏付けている。

